

延岡植物園リニューアル(第1期整備)基本計画(素案)の概要

1.1 延岡植物園の概要

延岡植物園は、昭和62年の開園以降、花と緑の供給基地として、市内の緑化を進め、住みよい町を作る拠点としての役割を担っています。

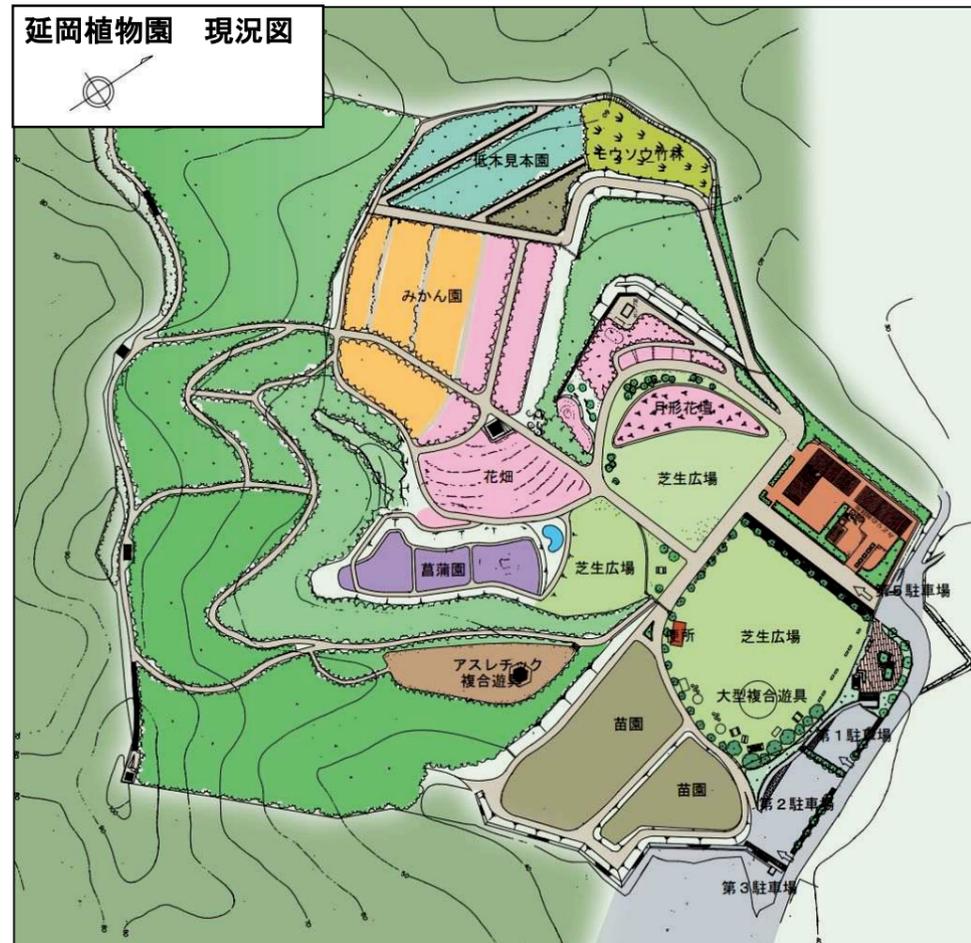
また、自然と融合した緑の中のレクリエーションの広場としての機能を持ち、「市民の憩いの場」として多くの市民等にご利用いただいています。

表 基本情報

名称	延岡植物園	住所	宮崎県延岡市天下町1235-1
植物園 開園時間	8:30~17:15	みどりの相談所 開園時間	10:00~15:00 毎週水・土・日曜日
入園料	無料	アクセス	JR延岡駅から車で約15分 東九州自動車道延岡ICから車で約5分
常時駐車場	第1・2・5駐車場(計44台) 内多目的駐車場6台	臨時駐車場	第3・4駐車場(計219台)

表 植物園内の面積一覧

植物園全体	緑の相談所	温室	遊歩道	芝生広場
8.7ha	209㎡	174㎡	約2,000㎡	10,000㎡
第1花壇	みかん園	苗畑	花菖蒲園	低木見本園
800㎡	3,500㎡	6,000㎡	2,000㎡	2,800㎡



1.2 本業務に至るまでの経緯

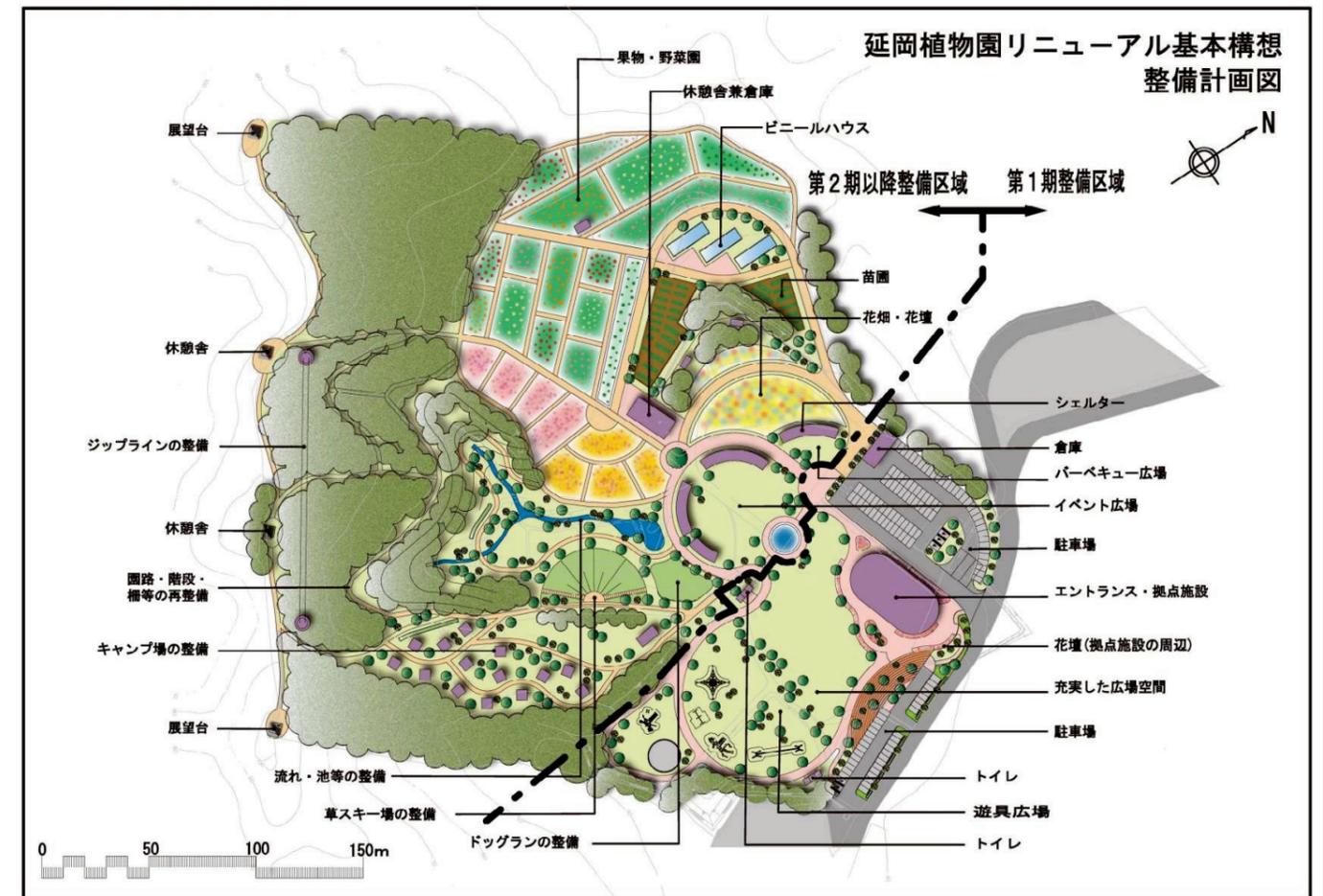
昨年立案された「延岡植物園リニューアル基本構想」の概要は以下のとおりです。

■植物園リニューアルの整備テーマ「オシャレで楽しい緑の空間」

～現在の植物園としての基本的な機能を維持しつつ、市民はもちろん観光誘客が見込めるような植物園～

■植物園リニューアルの基本方針

- ①延岡市全体の観光振興及び地域経済の活性化となるような魅力ある植物園
- ②若年層にとって魅力的でエキサイティングな植物園
- ③植物園としての機能は維持しつつ、新たな機能を追加して一日中過ごせる植物園
- ④日常的に利用している地域の利用者にも配慮
- ⑤持続可能な市有施設とするため、民間活力の導入を図り管理経費を削減



延岡植物園リニューアル基本構想 令和7年10月 延岡市

「延岡植物園リニューアル基本構想」は、検討委員会3回、パブリックコメント募集1回、サウンディング型市場調査2回を実施し、その意見を反映して令和7年10月に策定されました。

現在は基本構想を踏まえつつ、植物園全体の改修を考慮しながら、第1期整備区域についてより詳細で効率的な基本計画の検討を進めています。

延岡植物園リニューアル(第1期整備)基本計画(素案)の概要

1.3 計画平面図(案)

本業務における現時点での計画平面図(案)を以下に示します。主な変更点としては、①造成を最小限とするため現況の地形条件を活かします。②動線についても現況動線を活かすこととします。③拠点施設は内容を検討しつつ規模、形状、設置位置の調整を図ります。④道路側の斜面は階段を少なくし、花壇を増やします。⑤遊具は既存遊具をそのまま活用し、新規の遊具として誰もが楽しめるインクルーシブ遊具の導入を図ります。



図 計画平面図(案)

延岡植物園リニューアル(第1期整備)基本計画(素案)の概要

1.4 計画平面図(案)の根拠一覧

(1) 駐車場台数の設定

「都市公園利用実態調査」より、本植物園に必要な駐車場台数を設定すると、下表の通りとなります。

なお、駐車台数を確保するため、第1・2駐車場は区分けをなくし、出入口を一箇所として、一体的な駐車場とします。その他、第4駐車場は臨時駐車場とし、第3駐車場は両方の機能を持つものとします。

表 必要駐車場台数

常時駐車場	台数
第1,2駐車場	47台
新設駐車場	78台(内、多目的駐車場3台)
第3駐車場	8台
計	133台(内、多目的駐車場3台)
臨時駐車場	台数
第3駐車場	101台
第4駐車場	110台
計	211台
合計	344台(内、多目的駐車場3台)

(2) トイレ規模の設定

「都市公園利用実態調査」より最大日利用者数を算定し、必要なトイレの規模を設定すると、下表の通りとなります。なお、既存トイレは現行のバリアフリー基準を満たしていない可能性が高いため、多目的トイレも新設する方針とします。

表 新設トイレの必要便器数

		便器数 (男)	便器数 (女)	便器数 (多目的)
植物園全体の必要数		7基	7基	—
内訳	既存トイレ	4基	2基	1基
	拠点施設内のトイレ	3基	5基	1基

(3) 新設遊具・休憩施設

■遊具

2期地区には児童向けアスレチック遊具や複合遊具等の既存遊具があり、芝生広場に残置する遊具は幼児遊具であることから、現状の遊具では幼児や児童用で機能が限られています。

新設芝生広場に設ける遊具については、インクルーシブ遊具のような、年齢に関わらず様々な人が利用できる遊具を設置することとします。

■休憩施設

参考事例を調査し、休憩施設1基当たりの面積の平均値から、1期地区に必要な休憩施設を算出すると、ベンチが13基、テーブルベンチまたは東屋が2基必要となります。しかし、芝生広場に残置する休憩施設は、ベンチ13基、テーブルベンチ2基となり、必要数を満たします。

現温室付近及びエントランス部の休憩施設の撤去により、現況から減少することや、新規芝生広場に遊具を設置することから、新たにベンチ3基程度を配置するものとします。

なお、拠点施設を整備するため、パーゴラは新設しないものとします。

(4) 車利用者への景観的な演出

昨年までの検討や委員会にて、現状の植物園の課題として、前面の市道から植物園の存在が感じられず、入りにくいといった指摘がありました。

一方、植物園の立地からアクセスは自家用車が大半を占めており、運転者へのアピールが必要であるため、駐車場と芝生広場の高低差に新たに花壇を整備します。

現況、アジサイが整備されているが、開花時期が短いことから一部伐採し、花壇を設けます。

なお、斜面部であるため、維持管理性の向上を図り階段状の花壇とします。

(5) 拠点施設規模の設定

拠点施設の平面図を以下に示します。

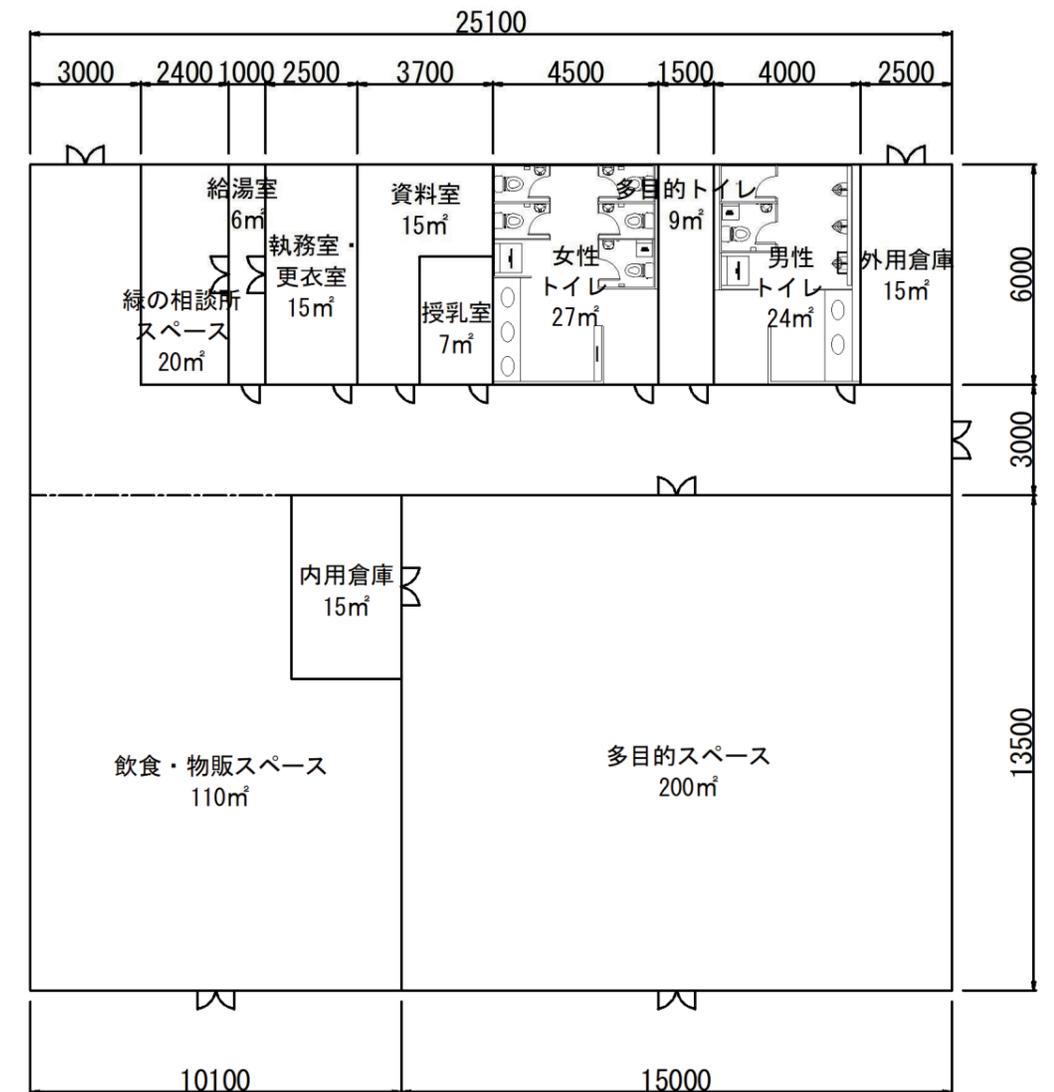


図 拠点施設平面図(案)

延岡植物園リニューアル(第1期整備)基本計画(素案)の概要

(6) 拠点施設の規模

拠点施設に整備する諸室と面積の根拠を下表に示します。

なお、エントランス・廊下等の面積は、既存のみどりの相談所の比率より算出したものであり、形状によって合計面積は変動します。

表 諸室の面積とその根拠一覧

諸室	面積	概要	根拠
①みどりの相談スペース	20㎡	緑の相談所、作業スペース、図書コーナー・閲覧場所	緑の相談所は、本来の緑の相談所機能だけでなく、作業スペースや炊事場、図書コーナー・閲覧場所も併せ持つものとして、既存事例の緑の相談室の平均11㎡+給湯室6㎡=17㎡、及び既存の緑の相談所の20㎡を勘案し20㎡とする。
	(6㎡)	給湯室	2~3人で利用できる指定管理者とも共用できる広さとし、緑の相談スペース内に設ける
②指定管理者の執務室	15㎡	執務室：日中の管理者(3名程度)	床面積×高さ=10㎡/人、天井高を2.5mと仮定すると4㎡/人(労働安全衛生法に基づく「事務所衛生基準規則」より) 3名勤務の平均値12㎡以上+既存事例の更衣室2.2㎡=14.4㎡から15㎡とする
	(2.2㎡)	更衣室：男女1名ずつが利用できる広さを1部屋ずつ	男性で1㎡/人、女性で1.2㎡/人(労働安全衛生法より)よって2.2㎡以上とする
③多目的スペース	200㎡	会議やイベント、子どもの遊び場等でマルチに利用可能 小中学校2クラス程度(教育学習を想定)120㎡+幼児用の子どもの遊び場の他地区事例より平均値81㎡より200㎡と設定	団体の学習スペースとして小中学校2クラス程度(公立小・中学校の普通教室の1クラスの平均面積64㎡、出典：文部科学省 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について有識者会議中間報告2021年)+幼児用の子どもの遊び場他地区事例より平均値(4か所、81㎡)を採用
④外用倉庫	15㎡	芝生広場でのイベントおよび管理を容易にするための備品倉庫とする	メインの管理用倉庫は既存の倉庫を利用するが、芝生広場でのイベントおよび管理を容易にするための備品倉庫として内用倉庫と同等規模として設定する
⑤内用倉庫	15㎡	会議活動室で使用する机と椅子の保管倉庫 小中学校2クラス程度(1クラス35人と想定)とすると、机20台、椅子70脚必要	一般的な4人掛けテーブル(約幅1.8×奥行0.5×高さ0.7m) 10台収納可能なテーブル用台車(約幅2.0×奥行1.0m)×2=4㎡ パイプ椅子20脚収納可能な椅子用台車(約幅1.5×奥行1.0m)×4=6㎡ よって10㎡+その他の備品・活動スペース5㎡=15㎡とする
⑥資料室	15㎡	—	既存の緑の相談所と同規模から15㎡とする
⑦飲食、物販スペース	35㎡	カフェ(厨房込み)1店舗を想定	類似施設内のカフェ事例より、1店舗あたりの平均面積は35㎡である
	75㎡	飲食・休憩スペース、温室風エリア	無料の飲食・休憩スペースは事例より75㎡以上とする
⑧トイレ(※)	60㎡	男子トイレ：4基(必要規模は3基)、洗面2基 女子トイレ：5基、洗面3基 多目的トイレ：1基、洗面1基	他地区事例より概要に示す規模の面積は、男子トイレ(24㎡)、女子トイレ(27㎡)、多目的トイレ(8.7㎡)とする なお、男子トイレの必要便器数は3基であるが、女子トイレと同規模として小3基・洋式1基とする
⑨授乳室	7㎡	事例からの平均値6.6㎡から7㎡と設定	他地区事例平均値6.6㎡より、7㎡を採用
小計	457㎡		
エントランス、廊下等	73㎡		既存の緑の相談所のエントランス、廊下等の比率16%より算出
合計	530㎡		